

## 「ゴム技術のこれまでとこれから」

主催 一般社団法人日本ゴム協会関東支部

協賛 高分子学会・自動車技術会・繊維学会・日本接着学会・日本トライボロジー学会・日本表面科学会・

(予定) プラスチック成形加工学会

今年、日本ゴム協会は創立90周年を迎えます。節目となるこの時期に、ゴム技術の変遷を学ぶことで、現在、未来へとつながるゴム技術の発展の一助になることを期待し、各分野の歴史、現在の課題、今後の展望について、ご講演いただきます。万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2018年 11月12日(月)、13日 午前10時30分～午後4時40分(13日は、10時00分開始)

会場 東京電業会館 地下ホール(東京都港区元赤坂1-7-8 TEL. 03-3403-5181)

定員 70名(参加ご希望の方はお早めにお申し込みください)

受講料 会員・協賛団体会員 32,400円, 学生会員 無料, 会員外 48,600円(含消費税)

一度ご納入いただきました受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。賛助会員は2名まで会員扱いです。

申込方法 HP(<http://www.srij.or.jp>)からのお申し込みができます。また、下記申込書に所定事項を明記のうえ、

10月31日(水)までに下記あてにお申し込みください。受講票は10月下旬に担当者あてにお送りいたします。

送金方法 銀行振込(三井住友銀行日比谷支店(普) No. 3231980 一般社団法人日本ゴム協会関東支部)で開催日までに

お振込願います(振込手数料は受講者側でご負担ください)。請求書が必要な場合は申込書にご記入ください。

申込先 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル (一社)日本ゴム協会関東支部 秋期ゴム技術講習会係

TEL. 03-3401-2957 FAX. 03-3401-4143 E-mail:srij.kanto@srij.or.jp

日 時	演 題	講 師
11月12日(月)		
10:30～11:40	「CR(クロロプレンゴム)の開発と発展の歴史、そして今後の取組み」 デンカ(株)エラストマー・機能樹脂部門エラストマー一部 技術担当部長 藤井 信彦氏 合成ゴム総需要の2%に過ぎないCRが、ニッチな機能性ゴムとして、改良技術を基盤に新市場・新用途を切り開いてきた歩みを紹介するとともに、今後の課題と対応を探る。	
12:40～13:50	「カーボンブラックの基本物性からゴム補強機構について」 東海カーボン株式会社 生産技術部 石井 崇史氏 ゴムの補強材に使用されるカーボンブラック。その歴史の紹介とカーボンブラックの基本物性からゴム補強のメカニズムを講演する。	
14:05～15:15	「SBR、BRの歴史と今後の取組み」 J S R(株)機能高分子研究所 高分子材料開発室 山本 哲也氏 SBR、BRはタイヤ性能と共に発展し高付加価値化を遂げてきた。これまでの歴史を振り返ると共に今後の取組みについても触れる。	
15:30～16:40	「有機ゴム薬品(加硫促進剤と老化防止剤)」 大内新興化学工業(株)開発研究所 副グループマネージャー 小松 智幸氏 加硫促進剤と老化防止剤を中心に歴史とこれからについて紹介する。	
11月13日(火)		
10:00～11:10	「ゴムの分析・評価技術とその変遷」 一般財団法人化学物質評価研究機構 技術第三課 課長 高分子技術部 仲山 和海氏 ゴムの分析・評価において、近年の分析技術に加えて、古典的手法の併用が有効になることもある。分析・評価技術の変遷と新旧手法の活用について紹介する。	
11:25～12:35	「EPDMの歴史と技術動向」 三井化学(株) エラストマーグループ 宍戸 啓介氏 EPDMの特徴と技術動向を分子構造から説明し、直近の市場ニーズに対するソリューション提案を紹介する。	

13:35～14:45 「フィルターとしての炭酸カルシウム」 (株)白石中央研究所  
 代表取締役 所長 田近 正彦氏  
 ゴムをはじめとする各種工業材料へのフィルターとして使用される炭酸カルシウムの種類と製法について紹介する。

15:00～16:10 「ゴム材料微細構造設計技術 ～観察・解析・計算技術からものづくりまで～」  
 (株)ブリヂストン先端材料開発本部  
 フェロー 芥川 恵造氏  
 市場からの要求特性に合わせてタイムリーにゴムを提供するための微細構造設計技術の事例について紹介する。

プログラムは変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

**関東支部・第59回秋期ゴム技術講習会申込書**

(E-mail, FAX 通信可)

☆ 便利なインターネットからお申込みができます。 <http://www.srij.or.jp>

<b>申 込 者</b>	(会社名) _____ (担当者) _____ (所属) _____
	(住所) 〒 _____
	TEL. ( ) FAX. ( ) E-mail: _____
<b>受 講 者</b>	(氏名) _____ 所属部課 _____ 所属部課 _____ 役職名 _____ 役職名 _____ ・賛助会員 ・会員 ・学生会員 ・会員外 ・協賛団体

上記のとおり, \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日, 受講者 \_\_\_\_\_名, 計 \_\_\_\_\_円を銀行振込にて送金予定. 請求書 要